

【婦恋村】
校務DX計画

1. 校務DXを推進する上での現状と課題

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果、学校設置者、学校それぞれ群馬県の平均より得点が下まわっており、クラウドサービスの活用や学校内での会議や研修のハイブリッド（対面・オンライン）実施等が行われていないのが現状であり課題となっている。

2. 校務DXを推進するための課題解決策

校務DXを推進するためにICTを苦手とする教職員への研修等を充実させ、ICT活用スキル向上を図っていききたい。保護者にも理解いただき、学校と保護者間、学校と児童生徒間においてクラウドサービスを活用できるように支援していききたい。クラウドサービスを積極的に活用し、FAXの使用、押印を見直し、業務の効率化とペーパーレス化を推進していききたい。

3. 次世代校務DX環境の整備について

群馬県では、令和7年度より県域共同調達による学校デジタル基盤（校務支援システムと汎用クラウドツール）の導入が検討されている。本村も県域共同調達への参画を検討し、次世代校務DX環境の整備を進めていききたい。新たなICT環境に応じた教育情報セキュリティポリシーの策定を進め、ICTを活用し、校務の効率化を図り、教職員の事務負担等を軽減し、教職員の働き方改革を推進していききたい。